

年頭のごあいさつ



越生町長

新井雄啓 かつひろ

2019年

平成31年 猪

新年明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、輝かしい平成31年の新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
皆さまの温かいご支援とご協力のおかげで、平成30年の諸施策も順調に進めることができました。心から感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、企業誘致を進めるため、大谷地内の工業用地の前からバイパスまでの道路を整備したことにより、「すてきナイスグループ株式会社」の誘致に成功し、8月には、物流倉庫の建設が始まりました。また、県道飯能寄居線から越生中学校に通じる成瀬地内の道路を拡幅するため、測量と設計が終了しました。そして、広域静苑組合の越生斎場の新築工事も順調に進み、12月には完成を見ることができました。

観光振興としては、越生梅林から黒山までの観光名所、施設などの魅力をさらにアップさせていくために、新観光整備計画に着手するとともに、月例ハイキング大会の充実を図りました。また、第30回目を迎えた越生まつりでは、記念大会として県警音楽隊によるパレードを実施しました。

自治体間交流事業としては、4月18日に千葉県睦沢町と相互交流の協定を結び、交流をスタートいたしました。また、豊島区との交流事業として、10月7日に、池袋本町公園に五大尊つつじ公園のツツジを移植し、同日に行われた全国さくらサミットに加入し、さくらで有名な市区町村と意見交換をして参りました。12月には、豊島区駒込の苗床で育ったソメイヨシノを交流の記念として豊島区高野区長を迎え、大観山の中段に植樹しました。

その他にも、タクシーとバスの利用料金の助成による高齢者の支援や地域包括シス

テムの拡充、健康づくり事業、安心・安全なまちづくりの推進などを行いました。

子育てと教育につきましては、子育て世代包括支援センターの充実、小学校の外国人講師による英語の学習時間を増やすなど、教育内容の充実を図りました。18歳までの医療費無料化や第3子以降の保育料無料化、35人学級についても引き続き継続する考えでございます。

今年、平成26年5月から進めてきました越生駅東口開設事業が3月15日までに完了し、16日に供用開始できることになりました。これにより、町民の皆さまの利便性の向上が図れると思っております。また、防災行政無線のデジタル化を進めます。町営樹木葬の実施については、名称を「五大尊花木墓苑」とし、昨年11月にツツジ千本の植樹が完了いたしましたので、今年準備が整い次第、募集を開始いたします。

その他の施策についても、町の財政状況は依然として厳しい状況が続いていくと思えますが、「住んでよかつた」、「これからも住み続けたい」と言われる活力のある越生町を創っていくため、職員一丸となって努力して参りますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆様にとりまして、幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。